

日本テコンドー協会（J T A）
2025年4月 理事会通信

2025年5月5日
日本テコンドー協会
理事長 河 明生

定例理事会における公開可能な決定事項につき告知します。

提案者 河 明生

長昇級審査における板割り廃止及び 中学生会員昇級審査料値下げ

日本テコンドー協会の審査会に使用している板は、武道具店で販売している簡単に割れる板ではない。40年以上、本部事務所近隣の木材屋から、通常の木造建築に使用されている国産・杉の木を審査用試し割り仕様で正方形に切ってもらい審査に使用してきた。これは武道具店で販売している板よりも固く割れにくい。習得した蹴りの威力をはかるためのものであった。

しかし、物価高騰に伴い板割りに使用している国産・杉の木が東京で高騰している（1枚当たり800円前後）。オンライン審査時、地方クラブが用意する板が、漸次、小さな長方形になっている理由も頷ける。

だが、世間に追従した審査料の値上げは避けたい。

庶民の生活を犠牲にしながら輸出企業を優遇してきた腐った政策＝アベノミクス（別名あほノミクス）による円安誘導等を原因とした値上げラッシュにつき、便乗値上げも多々あることから個人的に不愉快に観じていたからである。

そこで昇級審査における板割りを廃止したい。

代替審査課題は、少年少女部昇級審査課題同様の特技とする。

あわせて義務教育課程＝中学生の昇級審査料を値下げしたい。

子供は日本国の宝である。

蠅の斧ではあるが少しでも子育て中（義務教育課程の子女）の親の経済的負担を軽減したい。

翌日の審査権を有する師範会議の結果→上記を承認する。

飛び蹴りを含むべきとする意見があったが、近年、50歳前後の入門者、審査受験者が増えていることから、採用できなかった。たとえば、初期高齢者は、腰や膝が弱くなっており、飛び蹴り後の着地の失敗による歩行困難等が憂慮されるからである。

よって次の通りとする。

記

- 1, 日本テコンドー協会昇級審査における板割りは廃止する。
代替審査種目は、少年少女部同様の特技とする。
- 2, 中学生受験者の昇級審査料を値下げする。
従来の受験料7350円 → 新受験料6600円
- 3, 2025年5月5日より実施する。